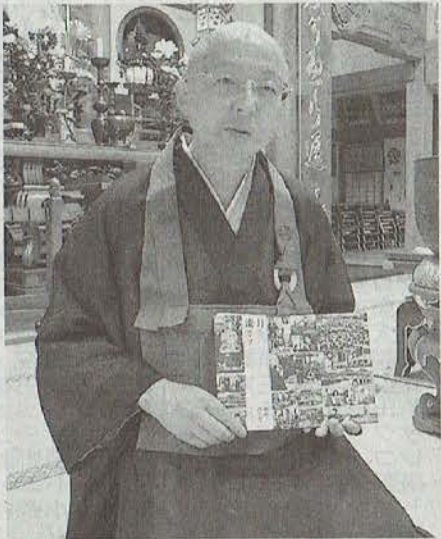


# 「ライブ法話」の10年本に

山元の徳本寺住職・早坂さん  
震災後も途切れず



専用ダイヤルで法話が聞ける「テレホン法話」を続けている山元町の徳本寺住職、早坂文明さん(66)。音楽とともに、直接語りかける年1回の「ライブ」は、開始から今年で10年になる。その模様を紙上で再現した本を出版した。

テレホン法話は、1984年に早坂さんの父が始めた。87年暮れから引き継ぎ、2015年秋には1千回を突破。カンボジアに小学校を建てる自らのボランティア活動から、大相撲や箱根駅伝といったスポーツまで森羅万象を取り上げた。07年からは「自分の思いを本堂で直接語りたい」と、テレホン法話で取り上げた話題を、ゲスト歌手によるオリジナルの歌謡曲などとともに掘り下げて伝えるライブも催している。

震災の後も途切れず、今年が10年の節目を迎えるのを機に、ライブの模様を紙面で再現する本をつくらう

と決めた。電話で流れる法話は1回3分。法話の後日談や、込めた思いがづづられる。

12年10月のライブ。高校を卒業したばかりの娘を津波で亡くした夫婦を紹介した。書道部だった娘が書き残した「歩」という直筆の字を墓石に刻み、供養しているという。多くのものを失っても、人生を歩んで道を作らなければいけない。困難があっても歩みやめず、道を作っていくってほしい。早坂さんは訴えた。

本のタイトルは「月を流さず」。どんなに急流な川でも、映る月は流れていかない。大災害が起きても、この月のように動じず生きていきたい、という願いを込めた。税別1500円。

今年のライブは10月29日にある。入場無料。問い合わせは徳本寺(0223・380320)へ。テレホン法話は0223・381717。  
(桑原紀彦)

# 月を流さず

## 和尚の語り草

早坂文明

蕃山房